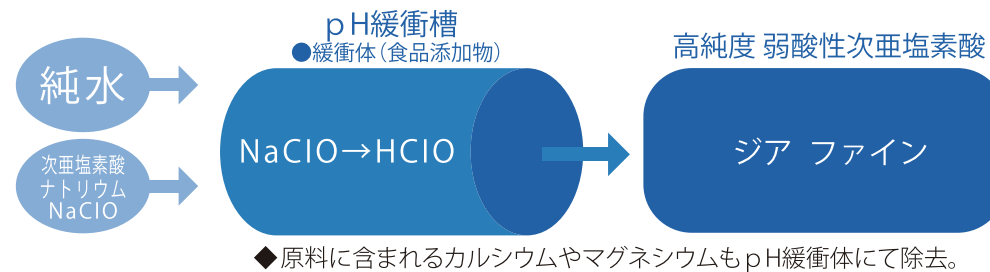


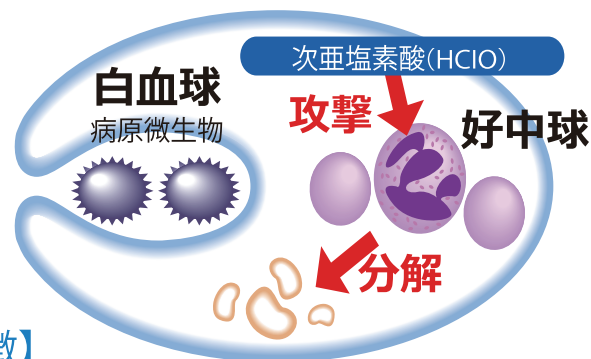
● ジアファインとは

- 塩酸などの中和剤を一切使用せず、成分は純水と次亜塩素酸ナトリウム(食品添加物)のみで生成され 99.9% 「水」 でつくられた安心・安全な次亜塩素酸です。



● 次亜塩素酸は私たちの体内でも大活躍！

- 白血球の一種である好中球の中で、酵素が反応し次亜塩素酸を産生。この次亜塩素酸は体内に侵入するバイ菌を効率的に殺菌しているのです。



【ジアファインの特徴】

人にもペットにも安心・安全

人体の生理機能を再現した製法で生成し主な水道水基準をクリア。弱酸性で手肌に優しい。

食にも安心・安全

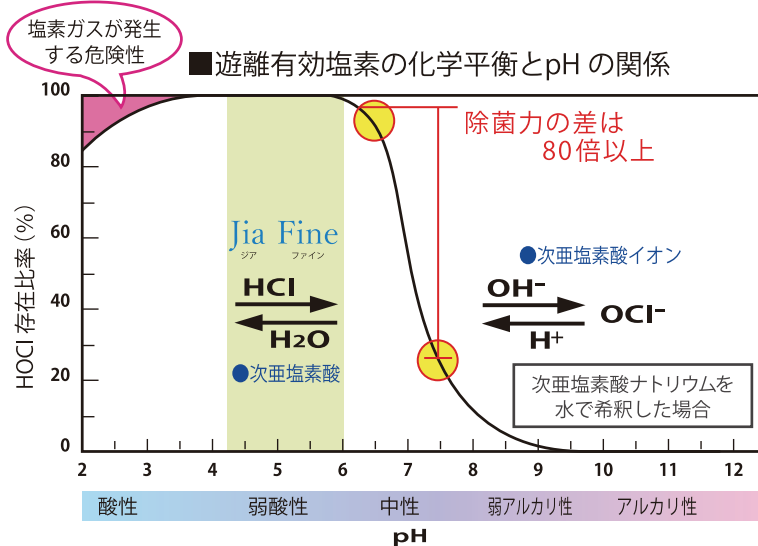
原料は厚生労働省が定める「食品添加物」。包丁・まな板など調理器具や野菜・果物など食材にも安心。

環境にも安心・安全

金属腐食や漂白作用は水と同等程度。刺激臭もなく様々なシーンでご使用できます。

● 次亜塩素酸ナトリウムとジアファインの違い

- ジアファインの成分である次亜塩素酸ナトリウム(強アルカリ性)は、水道浄化にも利用されており日本では100年以上も歴史がある殺菌剤です。漂白剤としても手軽に利用できる反面で存じのとおり注意喚起が多く、混ぜると危険、希釈・換気・手袋・マスクなどが必要となります。ジアファインは次亜塩素酸ナトリウムを特許製法により、強アルカリ性から弱酸性に変化させ安全性と除菌力を高め、抵抗力の弱い赤ちゃんや高齢者も安心してご使用できる除菌・消臭水として生まれました。

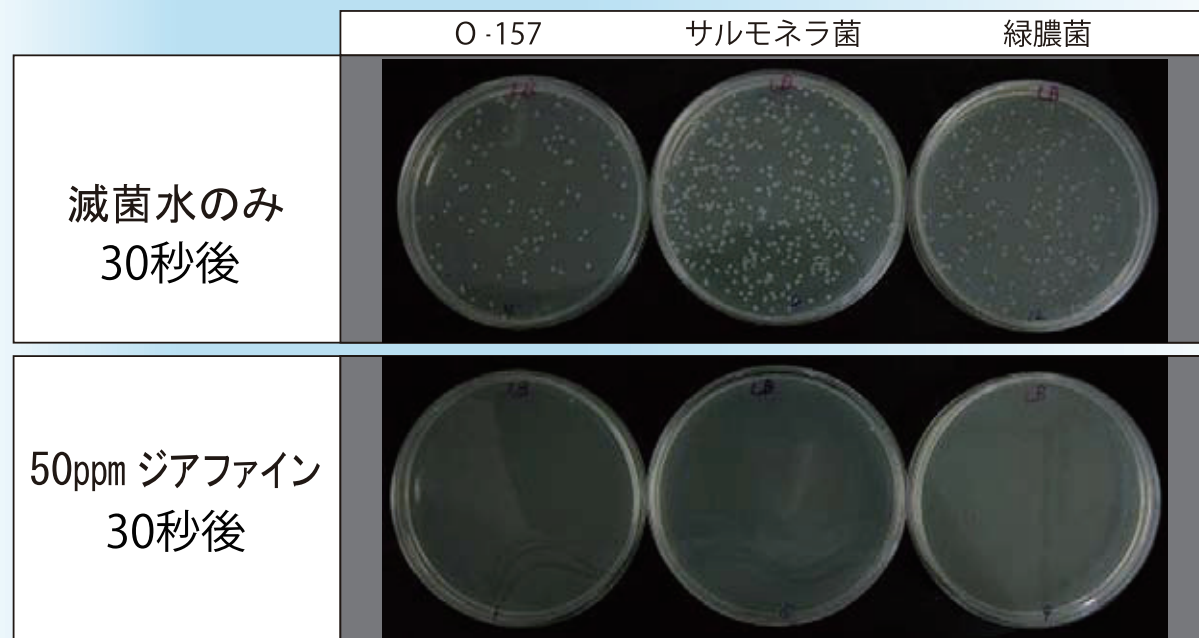


● 試験資料

- ※各種試験機関にて効果検証を行っております。
- ※安全性においても水道水基準適合しております。
- ※低濃度において実証されております。

■ 北里大学での除菌効果試験

滅菌水30秒後とジアファイン30秒後



■ 次亜塩素酸濃度 50ppm による短時間除菌試験

菌名称	効果有無	試験結果 (30秒後)
大腸菌 <i>Escherichia coli</i>	◎	< 10 : 検出せず 単位: CFU/ml
O-157 <i>Escherichia coli</i>	◎	< 10 : 検出せず 単位: CFU/ml
サルモネラ <i>Salmonella enteritidis</i>	◎	< 10 : 検出せず 単位: CFU/ml
緑膿菌 <i>Pseudomonas aeruginosa</i>	◎	< 10 : 検出せず 単位: CFU/ml

試験実施機関: 北里大学生命科学研究所

■ 次亜塩素酸濃度 50ppm による主な菌の除菌試験

菌名称	効果有無	試験結果 (1分後)
枯草菌(芽胞) <i>Bacillus subtilis</i>	◎	< 10 : 検出せず 単位: CFU/ml
カンジダ <i>Candida albicans</i>	◎	< 10 : 検出せず 単位: CFU/ml
白癬菌 <i>Trichophyton mentagrophytes</i>	◎	< 10 : 検出せず 単位: CFU/ml
大腸菌 <i>Escherichia coli</i>	◎	< 10 : 検出せず 単位: CFU/ml
黄色ブドウ球菌 <i>Staphylococcus aureus</i>	◎	< 10 : 検出せず 単位: CFU/ml
緑膿菌 <i>Pseudomonas aeruginosa</i>	◎	< 10 : 検出せず 単位: CFU/ml
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 MRSA	◎	< 10 : 検出せず 単位: CFU/ml
サルモネラ <i>Salmonella enteritidis</i>	◎	< 10 : 検出せず 単位: CFU/ml

試験実施機関: 京都微生物研究所
試験目的: 抗菌力評価試験
試験方法: 生菌測定法

■ 次亜塩素酸濃度 50ppm によるウイルス不活性化試験

ウイルス名称	効果有無	試験実施機関
インフルエンザウイルス (代替ウイルス: 大腸菌ファージ)	◎	北里環境科学センター
ノロウイルス (代替ウイルス: ネコカリシウイルス)	◎	BMSA バイオメディカルサイエンス研究会

■ 次亜塩素酸濃度 50ppm によるアレルゲン物質不活性化試験

ウイルス名称	効果有無	試験実施機関
スギアレルゲン	◎	ニチニチ製薬
ダニアレルゲン	◎	ニチニチ製薬

安心 水質基準合格 安全

ジアファイン200ppmが水道法の水質基準値をクリアしました。

平成15年厚生労働省告示第261号
※一般細菌・大腸菌・鉛・鉄・銅・臭気など全てクリア

※試験機関: 環境未来株式会社
厚生労働省認可機関での水道法水質基準検査